

数学A P38解説

- 1 1から100までの自然数全体の集合を U とし、 U の部分集合で、3の倍数全体の集合を A 、4の倍数全体の集合を B とすると

$$A = \{3 \cdot 1, 3 \cdot 2, 3 \cdot 3, \dots, 3 \cdot 33\}$$

$$B = \{4 \cdot 1, 4 \cdot 2, 4 \cdot 3, \dots, 4 \cdot 25\}$$

よって $n(A) = 33$, $n(B) = 25$

求めるのは $n(A \cup B)$ である。

$$n(A \cup B) = n(A) + n(B) - n(A \cap B)$$

$n(A \cap B)$ は、3の倍数かつ4の倍数すなわち12の倍数の個数である。

$$A \cap B = \{12 \cdot 1, 12 \cdot 2, 12 \cdot 3, \dots, 12 \cdot 8\}$$

よって $n(A \cap B) = 8$

したがって、3と4の少なくとも一方で割り切れる数の個数は

$$n(A \cup B) = n(A) + n(B) - n(A \cap B) = 33 + 25 - 8 = 50 \text{ (個)}$$

- 2 (1) すべての目の出方は $6 \times 6 = 36$

目の積が奇数になるのは、2個の目がいずれも奇数のときであるから

$$3 \times 3 = 9 \text{ (通り)}$$

求める場合の数は、全体から目の積が奇数の場合の数を除けばよいから

$$36 - 9 = 27 \text{ (通り)}$$

- (2) 目の和が偶数になるのは、2個の目がいずれも奇数、または2個の目がいずれも偶数の場合であるから

$$3 \times 3 + 3 \times 3 = 18 \text{ (通り)}$$

3 (1) 一の位は、数字 0, 5 のいずれかである。

[1] 一の位の数字が 0 の場合

百, 十の位には、残り 5 個の数字から 2 個取って並べるから、その並べ方は ${}_5P_2$ 通りある。

[2] 一の位の数字が 5 の場合

百の位は、0 と一の位の数字以外の 4 個の数字のどれかであるから、その選び方は 4 通りある。

そのどの場合に対しても、十の位は、一の位と百の位の数字以外の 4 個の数字のどれかであるから、その選び方は 4 通りある。

[1], [2] から、求める個数は、積の法則と和の法則より

$${}_5P_2 + 4 \times 4 = 5 \cdot 4 + 16 = 36 \quad \text{答} \quad 36 \text{ 個}$$

(2) 百の位は、数字 3, 4, 5 のどれかである。

[1] 百の位の数字が 4, 5 のいずれかの場合

十, 一の位には、残り 5 個の数字から 2 個取って並べるから、その並べ方は ${}_5P_2$ 通りある。

[2] 百の位の数字が 3 で、十の位の数字が 4, 5 のいずれかの場合

一の位は、残り 4 個の数字のどれかであるから、その選び方は 4 通りある。

[3] 百の位の数字が 3 で、十の位の数字が 2 の場合

一の位は、数字 1, 4, 5 のどれかであるから、その選び方は 3 通りある。

[1] ~ [3] から、求める個数は、積の法則と和の法則より

$$2 \times {}_5P_2 + 2 \times 4 + 3 = 2 \times 5 \cdot 4 + 8 + 3 = 51 \quad \text{答} \quad 51 \text{ 個}$$

4 4本の平行線から 2 本を選び、それらに交わる 3 本の平行線から 2 本を選ぶと、平行四辺形が 1 個できる。

よって、求める平行四辺形の個数は

$${}_4C_2 \times {}_3C_2 = {}_4C_2 \times {}_3C_1 = \frac{4 \cdot 3}{2 \cdot 1} \times 3 = 18 \text{ (個)}$$

5 異なる n 個から r 個を取り出すとき、特定のもの a を含む組と含まない組ができる。

a を含む組の総数は、 $(n-1)$ 個から $(r-1)$ 個取る組合せの総数 ${}_{n-1}C_{r-1}$ に等しい。

a を含まない組の総数は、 $(n-1)$ 個から r 個取る組合せの総数 ${}_{n-1}C_r$ に等しい。

よって、和の法則により、等式 ${}_n C_r = {}_{n-1} C_{r-1} + {}_{n-1} C_r$ が成り立つ。

6 上の面は赤以外の 5 色のいずれかで塗ればよいから、上の面の塗り方は 5 通り。

側面は、残り 4 色の円順列になるから、立方体の塗り方の総数は

$$5 \times (4-1)! = 5 \times 3! = 30 \text{ (通り)}$$

答 (ア) 5 (イ) 4 (ウ) 3 (エ) 3 (オ) 0